

【開催趣旨】

深刻化する地球温暖化への対応や、国内外の社会経済情勢の変化等を踏まえた持続型発展が可能な社会に貢献する新下水道ビジョンの策定を踏まえ、下水道施設の水・資源・エネルギーの集約・自立・供給拠点化が注目されています。こうした中で、下水道熱利用への期待が高まっています。本研究集会では、このような情勢を踏まえ、「いよいよ本格化する下水道熱利用」をテーマに、大阪市立大学の中尾正喜教授や先進事例を持つ自治体の方がたをお迎えし、下水道熱利用のポテンシャルの高さや社会的意義を議論するとともに、最新の技術の事例の紹介を行いました。また、総合討論で、今後の下水道熱利用システムの発展方向や需要者への働きかけ方などについて討論しました。

【プログラム】 [議事録](#)

1 ご講演

大阪市立大学 大学院工学研究科 特命教授 中尾 正喜

「熱を有効利用したスマートシティの構築」 [発表資料1](#)

2 下水熱利用事例紹介

東京都下水道局計画調整部 カーボンマイナス推進担当課長 小池 利和

「東京都における下水熱利用事業について」 [発表資料2](#)

仙台市建設局下水道経営部下水道計画課計画係長 仲道 雅大

「仙台市における下水熱利用実証事業」 [発表資料3](#)

堺市上下水道局次長 松原 誠

「下水再生水複合利用事業～堺市の取り組み～」 [発表資料4](#)

3 総合討論

総合討論コーディネーター 国土技術政策総合研究所下水道研究官 榊原 隆

[発表資料5](#)

【開催日時】 2015年2月6日

【会場】 日本水道会館 7F 会議室 東京都千代田区九段南4丁目8-9

【参加者】 69名（講師5名、会員29名、賛助会員4名、官公庁等13名、一般13名）